

2021年度第5回定時社員総会記念セミナー

一般社団法人アニマルウェルフェア畜産協会も設立より5年を経過しました。その間、アニマルウェルフェアという言葉も格段に社会的認知が高まりました。社会的関心の高まりとともに、協会の果たすべき役割も増してきたものと思っております。

この機会に農場の紹介を兼ねて、日頃の取組み、アニマルウェルフェアに配慮した生産活動について、認証2農場からお話を伺います。

日時: 2021年5月9日午前11:00~12:00 無料 (定員: 先着90名まで)

講師: 十勝アルプス牧場橋本晃明氏・高橋牧場高橋正明氏

Zoomによりオンラインで行いますので、配信をご希望の方は事前にご連絡ください。

申し込み時の注意: 会員の有無及び所属・電話を明記してください。

前日に接続先URLをご連絡します。

申し込み期限: 4月30日

後援: 十勝獣医師会



事務局 奥野尚志 FAX0155-68-3305

携帯(午後6時以降): 090-7514-0354

メール: jim@animalwelfare.jp

十勝アルプス牧場橋本晃明氏: 清水町

橋本牧場は昭和14年に福井県から入植され、昭和30年に乳牛を導入。2018年にアニマルウェルフェア認証を取得しました。土づくりを基盤にした放牧畜産実践認証農場でもあり、環境負荷の少ない持続可能な酪農業に取り組んでいます。酪農が未来に続く、環境と調和した産業のあり方、そしてその中から安全、高品質な乳生産を目指しています。土壌分析に基づく施肥により微生物の活性を高める科学的酪農を実践しています。快適な飼養環境から生産される生乳を原材料としたアイスクリームやプリン・ミルクジャムなども製品化されています。

高橋牧場高橋正明氏: 別海町

根室地域では最も早く昭和6年に入植。2020年にアニマルウェルフェア認証を取得しました。放牧畜産実践認証牧場でもあります。ヒト本位の経済や自らの豊かさを求めるあまり、自然環境、生態系を破壊し、そのことが人間の健康を害する矛盾に疑問を抱き、農薬や除草剤を使わずに土地の健康を保ち、食の安全を追求する生産者グループ「放牧酪農家の考える命と食の会」の代表を務めています。海外から渡ってくる配合飼料が、その生産国、地域の人々の幸せを犠牲にしていることに大きな疑問を抱き、時と場所を超えた共生を見据えた酪農の将来を考える情報を発信しています。

